

専門課程シラバス

科目区分	専門分野	単位数・時間数	単位 1・ 時間 30	開講時期	1 学年後期
授業科目名	基礎看護学技術 I 看護過程			授業形態	講義・GW
担当教員	武森 勢津子		実務経験	○(看護師)	
授業概要	看護実践に必要な看護過程の基本的事項や、構成要素について学ぶ。看護過程の意義や目的を理解し、健康障害を持つ対象の紙上事例を通して、アセスメント・診断・計画・実施・評価の展開方法について学ぶ。				
学習目的	看護過程を用いた看護の展開の実際について学ぶ				
到達目標	<p>1. 看護過程を構成する要素とそのプロセス、また看護過程を用いることの意義を理解する。</p> <p>2. 実際の事例をもとに、問題解決過程やクリティカルシンキング、リフレクション、倫理的判断といった看護過程の基礎となる考え方について学ぶ。</p> <p>3. アセスメント、看護問題の明確化、計画立案、実施、評価といった看護過程の各段階について、その基本的な考え方と実際に学ぶ。</p>				
授業内容	<p>1・2 看護過程とは ゴードンの枠組み</p> <p>3・4 アセスメント①アセスメントの枠組みから対象の全体像を捉える 健康知覚－健康管理パターン・栄養－代謝パターン・排泄パターン</p> <p>5・6 アセスメント①アセスメントの枠組みから対象の全体像を捉える 活動－運動パターン・睡眠休息パターン・認知－知覚パターン</p> <p>7・8 アセスメント①アセスメントの枠組みから対象の全体像を捉える 自己知覚－自己概念パターン・役割－関係パターン・セクシュアリティ－生殖パターン</p> <p>9.10 アセスメント①アセスメントの枠組みから対象の全体像を捉える コーピング－ストレス耐性パターン・価値－信念パターン</p> <p>11・12 アセスメント②(情報の収集と分析)</p> <p>13・14 紙上事例 対象の状況をアセスメント(個人及びグループワーク)</p> <p>15・16看護診断の種類と問題の明確化</p> <p>17・18 看護計画立案</p> <p>19・20 紙上事例 対象の状況の看護診断(個人及びグループワーク)</p> <p>21・22 紙上事例 対象の状況の看護診断から看護計画を立案する(個人及びグループワーク)</p> <p>23・24 グループ発表 看護診断、看護計画</p> <p>25・26 グループ発表 看護診断、看護計画</p> <p>27.28. 看護計画の実施と評価</p> <p>29.30. 看護記録</p> <p>終講試験</p>				
評価方法	筆記試験(80%)、レポート課題(20%)、授業中の参加姿勢等で総合的に評価する。				
教科書	<p>系統看護学講座 基礎看護学2 基礎看護技術 I 第18版 第3刷 医学書院 2024</p> <p>看護診断ハンドブック 第11版 医学書院</p> <p>ゴードンの帰納的健康パターンに基づく看護過程と看護診断第6版 スーバルヒロカワ 2019</p>				
参考図書 等					
備考					